

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進

推進項目

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

1 スポーツ少年団本部活動

- ・子ども達の大会参加の機会を確保するため、各専門部会が主体となって酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会を開催（※野球、サッカー、卓球、バレーボール、バスケットボール、剣道の6競技の大会。888名が参加）。
- ・団員数増加につなげるため、教育委員会主催のスポーツ能力測定会と同日同会場にて、昨年度に引き続き、スポーツ少年団体験会を開催（※野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道の6競技を実施し、延べ570名の子ども達が参加）。



▲シュート体験を行う様子（バスケット）



▲竹刀を握り面打ちの体験を行う様子（剣道）

2 スポーツ能力測定会

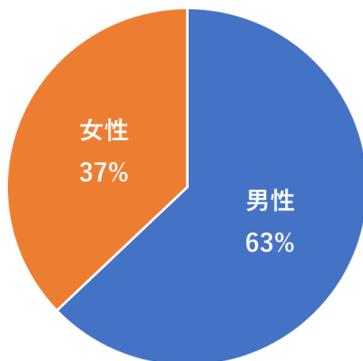
- ・市内在住の未就学児から中学生までを対象に、世界のトップアスリートが使用する最新の測定機器によるスポーツ能力測定会を開催（令和7年11月30日）。測定結果を基に、専門家からアドバイスを受けることによって、子どものスポーツに対する興味・関心を高めるとともに、スポーツに出会い親しむきっかけを創出することを目的に開催した。

○参加者 事前申込者数/278名 当選者数/220名

当日参加者数/175名（欠席者数/45名）

○運動能力測定

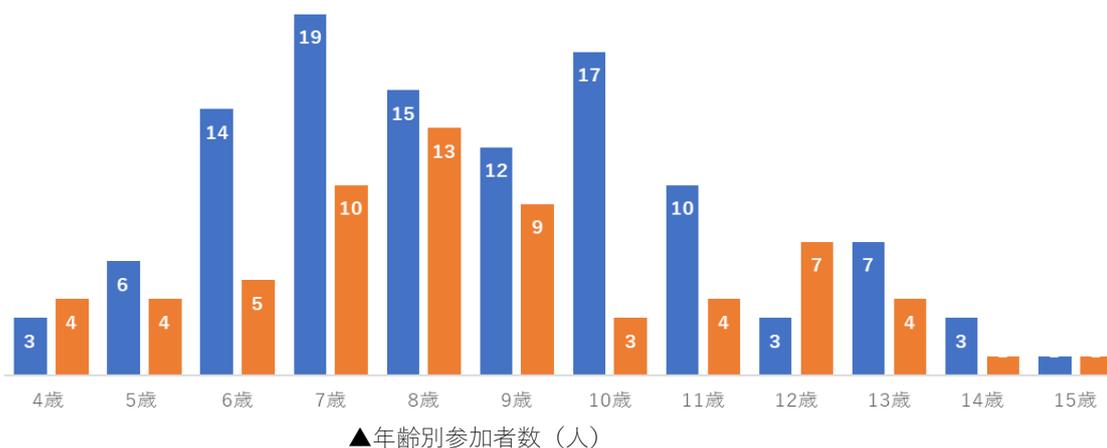
10mスプリント、敏捷性、ジャンプ力、反応ステップ、バランス、スイングスピード



▲参加者の男女比



▲10mスプリント測定の様子



3 鬼ごっこによる体力向上事業

- ・東北公益文科大学の体育系クラブ（女子バレーボール部・男女サッカー部）に所属する学生の協力を得て、市内8つの小学校において体育の授業の一部分で鬼ごっこを実施（令和7年12月末現在で5校が終了。2月中で8校全て終了予定）。鬼ごっこ以外の時間は、担任の先生の補助（アシスタントティーチャー）として授業に参加。

《令和7年度の取組状況》

No.	小学校名	担当部活名	実施回数内訳 (回)						実施回数 合計 (回)
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
1	泉小学校	女子バレー部	/	/	/	2	/	/	2
2	浜田小学校		/	/	3	4	3	/	10
3	十坂小学校		/	/	/	/	2	/	2
4	松原小学校		2	2	/	/	/	2	6
5	新堀小学校	女子サッカー部	/	/	/	/	1		1
6	富士見小学校		1	1	2	2	2	2	10
7	黒森小学校	男子サッカー部	3		3		4		10
8	亀ヶ崎小学校		3	3	/	/	/	/	6
									47

- ・大学生が準備してきた鬼ごっこ（ケイドロ、バナナ鬼、電子レンジ鬼、など）の実施のみならず、希望する学校にはスポーツ振興課職員が主体となってスポーツ鬼ごっこを実施。

《実施した小学校の先生方の声》

- ・鬼ごっこがますます好きになったようで、休み時間に鬼ごっこをする子が増えた。
- ・大学生が鬼ごっこをしてくれることがとても刺激になり、全力で楽しく体を動かすことができた。
- ・自分たちより足が速い大学生と鬼ごっこができ、楽しんでいた。

4 スポーツ推進委員会

- ・スポーツ推進委員の資質向上を図るため、下表の各種研修会に参加した。

研修名	期日	開催地	参加人数
庄内地区研修会	令和7年6月7日	酒田市	41名
県研究大会	令和7年6月21日	天童市	17名
東北研修会	令和7年7月11日・12日	福島県田村市	6名
全国研究協議会	令和7年11月13日・14日	長野県長野市	6名

- ・子どもや子育て世代がニュースポーツに触れるきっかけづくりを創出することに加え、当会の活動を広く市民へPRするために「第71回酒田市子どもまつり（令和7年5月5日開催）」に初めて参加協力し、ボッチャなどのニュースポーツの体験ブースを設けた。300人余りの親子連れが集まって大盛況だった。



▲大盛況だった子どもまつりの様子

- ・モルックの普及に取り組む酒田米菓(株)のモルック部と、市スポーツ推進委員会が共同で、第4回酒田市モルック大会を開催（令和7年9月14日）。

30チーム、106名参加。推進委員は大会運営・審判として27名参加。今回は、勝敗にこだわる「チャンピオンリーグ」と、モルックを楽しむ「エンジョイリーグ」の2部門に分けて初めて開催した。

- ・本市でスポーツ実施率が低い「子育て世代（30代～40代）の女性層」へのアプローチとして、酒田駅前交流拠点施設ミライニの指定管理者である（株）図書館流通センターと協力して、ミライニ図書館内や広場でニュースポーツ（ボッチャ、モルック）の体験会を開催（令和4年度からの継続事業）。10月にはミライニ主催の外遊びイベントでニュースポーツの体験会ブースを設け、多くの親子が参加してくれた。また、1月25日には「酒田日本海 寒鱈まつり in 光の湊」とコラボし、ミライニ内でニュースポーツの体験会を開催。

5 ラン&ウォークイベント

- ・「働き世代を対象にしたスポーツ実施率の向上」をねらいとして、スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウォーク」イベントに参加。
- ・スマートフォンのアプリを利用した参加無料のオンラインイベントで、5月と10月の1か月間の歩数や走行距離を全国の参加者と競い合う。

【5月「さつきラン&ウォーク（企業対抗）」】

- ・酒田市平均歩数ランキングで各部門第1位となった3企業に、7月開催の市スポーツフェスティバル2025開会式にて、酒田市独自の記念品（記念盾、スポーツ用品）を贈呈。

- 《参加人数 5 名以上の部》 第 1 位 東邦運輸（株）
- 《参加人数 11 名以上の部》 第 1 位 エイエスエムトランスポート（株）
- 《参加人数 21 名以上の部》 第 1 位 東北東ソー化学（株）

【10 月「オクトーバー・ラン&ウオーク（個人戦）」】

- ・ウオーキングの部市内個人ランキング上位 50 位に入った方のうち、副賞の受け取りを希望した 16 名に副賞を贈呈。

※副賞は、市内日帰り温浴施設無料入浴券またはにぎわい健康プラザ無料利用券。

- イベント参加自治体 全国 221 自治体（総勢 331,917 名）
山形県内 10 市町（総勢 4,092 名）
- 酒田市参加状況 参加者：135 名（歩行記録ありの方のみ。昨年比 △9 名）
1 日あたりの平均歩数：5,323 歩（昨年比 △755 歩）

6 東京 2025 デフリンピック

- ・「東京 2025 デフリンピック」では本市出身選手 3 名が躍動し、2 つのメダルを獲得するなど、多くの市民に感動を与えてくれた。
- ・当大会でメダルを獲得した、選手 2 名に対し、市から「市民栄誉賞」が贈られる
※贈呈式は令和 8 年 2 月 27 日の予定。
- ・スポーツ振興課では、3 選手の出場が決定した際に激励金を贈呈するとともに懸垂幕の設置をした。また、大会終了後にはメダル獲得等を祝う懸垂幕を設置した。



▲大会を終えた 3 選手の表敬訪問

○本市出身選手の主な成績は下記のとおり。

- ・ 齋藤 心温 選手（HOYA Technosurgical(株)所属）
【サッカー競技】銀メダル
- ・ 齋藤 京香 選手（CPA エクセレントパートナーズ(株)所属）
【水泳競技】女子 4×100mメドレーリレー 銅メダル
- ・ 齋藤 丞 選手（東北エプソン(株)所属）
【陸上競技】男子 1500m 決勝進出（第 11 位） 男子 5000m 決勝進出（第 10 位）